

平成30年度 当別町子ども発達支援センター保護者評価の結果について

お忙しい中、保護者の皆様には、アンケートのご協力ありがとうございました。次年度のセンターの指導等の充実に向けての方向性をお知らせいたします。

【調査機関】

- ・平成30年12月14日～平成31年1月15日

【調査対象者】

- ・当別町子ども発達支援センター利用保護者

【回答率】

- ・配布数：34世帯、回収数：28世帯
- ・回収率は82パーセントと高い回収率に感謝申し上げます。回答を分析し次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・センターの環境・体制整備、適切な支援の提供、保護者の相談に対する支援や満足度では概ね高い評価をいただいております。
- ・保護者同士の連携支援では、保護者同士が話せる時間を増やして欲しいというご意見がありました。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また発生を想定した訓練が実施されているかにつきましては、「どちらともいえない」という回答が多く、周知方法が課題となります。

【課題】

- ・高い評価を受けているものは、現状に満足することなく、職員の資質向上に努めることが必要と思われる。
- ・保護者同士の連携支援の充実を図る。
- ・緊急時対応マニュアル等の周知方法

【今後に向けて】

- ・高い評価を受けているものに関しては、センター内外の研修や学習会に参加し、今後も資質向上に努めてまいります。
- ・保護者同士の連携支援は、交流会の内容、回数、時期等を検討し、深めていけるよう努めます。また、開催する際には、文書、口頭、掲示板の利用など周知の徹底に努めます。送迎の際、交流の場として使用していない指導室を利用いただくことも検討いたします。
- ・緊急時対応、防犯・感染症マニュアルを策定し、職員間で確認をしています。また年に2回避難訓練等を実施し、その様子を廊下に掲示しています。今後は、保護者の目に留まりやすいような掲示の検討、懇談等での説明を行います。